

図書館だより

2015 年 冬号
発行 春日井市図書館
TEL 0568-85-6800

特集 日本再発見！

日本を訪れた外国人旅行者が過去最高を超えるなど、近年、海外からの注目度は急上昇し、日本の文化的特徴を称賛する声も高まっています。

その一方で、私たち日本人はともすれば、日本の魅力を忘れがちです。そこで、「日本再発見！」をテーマに4つの視点から好適な本を選びました。

伝統

日本の伝統というと、工芸品を思い浮かべるかもしれませんが、日本の心や美意識も受け継がれています。

『京都の流儀 もてなし篇』 とくりき りゅうのすけ 徳力 龍之介/著 木楽舎 384.9/キ/14 高蔵寺

京都で芸妓さん、舞妓さんを見かけることがあります。はなかんざし花簪を髪に挿し、四季の着物に身を包んだ彼女たちに憧れる人もいるのではないのでしょうか。

でも、彼女たちが美しいのは、綺麗な装いをしているからというだけではありません。花街には季節や行事に応じた伝統やしきたりがあり、それが彼女たちの身のこなしや言葉、雰囲気表れ、一層美しくみせます。

それらは全て、ひいき最良にしてくれるお客さんに「季節を感じてもらう」、「自分の家のようにくつろいでもらう」ための心遣いであり、おもてなしなのです。

日本人であっても私たちの普段知ることのない花街の伝統やしきたりを覗いてみてください。日本の心に触れられる1冊です。

『日本の配色』 さの たかひこ 佐野 敬彦/文 ピエ・ブックス 757.3/ニ/09

日本の自然は変化に富んでおり、人々は季節の移ろいを感じ、自然界に存在する豊かな色彩に心をよせてきました。その為、日本の伝統色には「ときはいろ鶺鴒色」、ふじむらさき「藤紫」、うすべに「薄紅」など、花鳥風月などの自然の恵みから名前が付いているものが数多くあります。

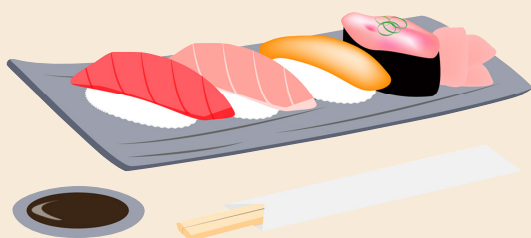
現在、私たちは日本よりも欧米の色彩に馴染んでしまい、日本人が培ってきた微妙で豊かな色彩感覚を失いつつあるのかもしれません。

本書では、着物や陶器、建築物などの写真を例にして、使用されている伝統色を説明しており、日本の配色の美しさや豊かさ、日本人の美意識の高さに気付かせてくれます。

和食

2013年12月 日本の食文化「和食」が無形文化遺産に登録されました。
日常何気なくいただいている和食ですが、今、世界に注目されている
「和食文化」を再認識して、食生活を振り返ってみてはいかがでしょうか。

お品書き



『和食に恋して』

とりのもと ゆきよ
鳥居本 幸代/著 春秋社 383.8/ワ/15

和食のルーツから和食のスタイルやマナーに
料理法、旬を大切にする野菜や魚の扱い方と
保存方法が紹介されています。年中行事にちなむ
食べ物には、食材・食習慣に意味が込められていて、
祈りの文化であることなど、知っているようで実は
知らないことが多い和食のことがわかる1冊となっ
ています。



『お寺のおいしい精進ごはん』

あおえ かくほう
青江 覚峰/著 宝島社 596.21/オ/14

精進料理とは、禅宗の僧侶の修行をささえる大切
な料理であるそうです。料理僧である著者が、
野菜・豆類・穀物などで作る春夏秋冬の簡単レシピ
100品を掲載。ヘルシーなのに満腹感あるレシピから、
季節の精進デザートまで紹介されている本です。

けんみざき さとみ
『和食いちねんせい』 検見崎 聡美/著
日本文芸社 596.21/ワ/14 **知多**

和食の基本であるだしの取り方から知っておきたい
和食用語まで、マンガとイラストで分かりやすく紹介し
ている本です。料理は苦手という方も、モチベーション
アップで挑戦できるのではないのでしょうか。



にし けんいちろう
『京味 季節の和食』 西 健一郎/著
NHK出版 596.21/キ/14

皆さんは京料理について、どんなイメージをお持ち
ですか？薄味である、素材や旬を味わう、手間ひま
かけて作る料理人の心を感じながら、見て楽しみ
食べて楽しむ等、いろんな印象があるのではないで
しょうか。
食通の文化人たちに愛される名店の店主である著者
の京料理レシピの数々を楽しんでみてください。

旅と景色

旅や景色を通じて、日本のいいところを再発見してみたいはかがでしょう。

『ななつ星 in 九州の旅』 さくらい かん 櫻井 寛 / 写真・文 日経BP社 686.2/ ナ /14

世界一の呼び声も高い豪華寝台列車、移動を楽しみつつ滞在も楽しむ、究極の愉悦を両立させた日本初の「クルーズトレイン」。なかでも内装の美しさは素晴らしく、九州を代表する伝統工芸技術と、日本の最新技術の新旧融合でさまざまなこだわりが施されているようです。

普段あまり気に留めない伝統工芸などに、旅をしながら身近に触れることができるなんて素晴らしいですね。

『一度は泊まりたい粋な宿、雅な宿』

やまぐち ゆみ
山口 由美 / 著 潮出版社 689.8/ イ /15

世界に誇るブランドを持つ宿、クラシックホテル、地元にも愛される旅館まで、それぞれの宿の物語を知るだけでなく、日本の美、さらには日本文化の多様性を再認識するきっかけとなる一冊です。

『新日本の絶景』

やまなし かつひろ やまなし まさのり とみた ふみお
山梨 勝弘、山梨 将典、富田 文雄 / 写真 パイインターナショナル 291/ シ /14

一般の人にはあまり知られていない、日本にこんな絶景があったのかと思ってしまふ、美しい風景が写真集になっています。美しく見られる時期や周辺の見所情報も掲載されています。

『歴史の街並』

にほんふうけいしやしんきょうかいかいいん
日本風景写真協会会員 / 写真 光村推古書院 748/ レ /14

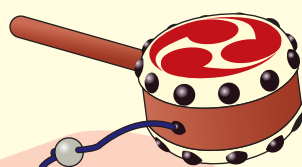
日本風景写真協会会員による失われつつある貴重な風景を伝え遺したいとの思いから作られた写真集で、なつかしさを感じたり、行ってみたいと思うような所が収められています。この本を含め、「遺したい日本の風景」としてシリーズ化されている他のタイトルの本にも、日本にはこんな様々な風景があることを知れる素敵な機会になると思います。

あそび



楽しいイベントいっぱいの冬!! 家族や仲間が集まったら、懐かしい日本のあそびで盛り上がってみませんか?

昔から受け継がれてきた、良き日本のあそびは、素敵な思い出になるに違いありません。



『日本伝承のあそび読本』

かこ さとし
加古 里子/著 福音館書店 384.5/ニ/14

伝承遊びの本として永く親しまれている一冊です。

草ずもう、あやとり、あぶりだし、コマや手影絵、紙でっぼうなど、受け継がれてきた身近な遊びを解説。現代っ子たちには新鮮で、大人には懐かしい遊びは大ウケ間違いなしです。



『人気のおりがみ Best50』

主婦の友社/編 主婦の友社 754.9/ニ/11

一枚の紙が花や動物に…日本の伝統文化、折り紙の入門書です。びよんびよんかえる、ふうせん、だましぶねなど、50作品をイラスト入りで分かりやすく紹介。

はじめてでもやさしく折れます。

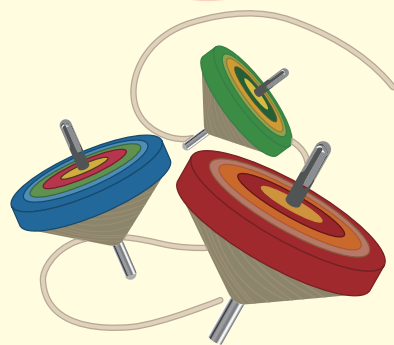
英語訳付きなので、外国の友達と一緒に‘ORIGAMI’を楽しみましょう。

『おもちゃの昭和史』

さとう やすた
佐藤 安太/著 角川書店 589.7/オ/11

昭和の子供たちが夢中になったダッコちゃん、リカちゃん、人生ゲーム、チョコQなどの大ヒットおもちゃたち。

戦火を生き延びタカラを創業した佐藤安太氏が語る物語。



『任天堂コンプリートガイド - 玩具編 -』

やまざき いさお
山崎 功/著 主婦の友インフォス情報社 589.7/ニ/14

日本を代表するおもちゃメーカー任天堂といえば、デジタルゲームを思い浮かべますが、創業は明治時代。花札から始まったファミコン以前の任天堂のおもちゃをカラー図版とともに紹介。友達や家族と楽しんでみてはいかがでしょうか。

